



よこはま市工連

Yokohama Shikouren

No.84



区の花:金沢区(ボタン)



区の花:港北区(ウメ)



区の花:緑区(シラン)



(「区の花」写真提供:公益財団法人 横浜市緑の協会)

目次

令和3年度 横浜市工業会連合会 役員等	1
令和3年度 横浜市工業会連合会 事業計画	3
地域工業会 新会長へのインタビュー	5
「テクニカルショウヨコハマ 2021」がオンラインで開催されました	6
令和3年度(第34回)新入社員合同研修	7
令和2年度 新入社員フォローアップ研修	12
地域工業会 事務局訪問	13
市工連からのお知らせ	14
令和3年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての横浜市からの回答	15
令和3年度 横浜市経済局の支援制度のご案内	17

発刊日: 令和3年7月31日

編集・発行: 一般社団法人横浜市工業会連合会

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階

TEL. 045-671-7051 FAX. 045-671-7321

URL: <http://www.y-shikouren.or.jp/>

デザイン・印刷: 有限会社双葉印刷所

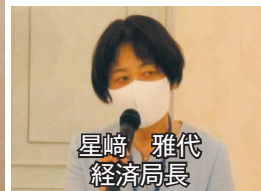
令和3年度 横浜市工業会連合会 役員等

令和3年6月22日(火)メルパルク横浜において令和3年度第1回理事会・定時総会、第2回理事会が開催されました。令和2年度の事業報告・決算報告に加え、市工連理事等の選任、副会長・専務理事の選定が審議され、すべて承認されました。

終了後には、退任される山崎理事（青経会前会長）への記念品贈呈を行い、自席で昼食をとりながら情報交換を行いました。



榎本 英雄 会長



星崎 雅代 経済局長



新任
横山 敦子 理事



新任
藤澤 秀行 理事



退任
山崎 一 理事



退任
斎藤 隆正 副会長

令和3年度横浜市工業会連合会役員名簿

役職名	氏名	工業会・役職	事業所・役職
会長	榎本 英雄	横浜市金沢地協同組合 理事長	海洋電子工業株式会社 代表取締役社長
副会長	加藤 卓郎	みなと工業会 会長	株式会社加藤組鉄工所 代表取締役会長
〃	黒田 憲一	戸塚泉栄工業会 会長	大洋建設株式会社 代表取締役社長
〃	寺嶋 之朗	鶴見区工業会 会長	プリンス電機株式会社 代表取締役社長
〃	稲村 直之	港南区工業会 会長	有限会社稲村建具 代表取締役
〃	松村 洋一	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 副会長	協立金属工業株式会社 代表取締役
理事	桐ヶ谷 修幸	神奈川工業会 会長	株式会社桐ヶ谷工業所 代表取締役
〃	横山 敦子	南事業会 会長	株式会社エステック 取締役会長
〃	栗原 敏郎	横浜西部工業会 会長	株式会社大協製作所 代表取締役会長
〃	長谷川 浩正	磯子事業会 会長	日興テクノス株式会社 代表取締役社長
〃	加藤 豊	一般社団法人横浜北工業会 副会長	第一カーボン株式会社 代表取締役
〃	藤澤 秀行	横浜青年経営者会 会長	株式会社ニッソー 代表取締役
〃	星崎 雅代		横浜市経済局長
専務理事	川崎 圭子		一般社団法人横浜市工業会連合会 事務局長
監事	猪鼻 久義		猪鼻会計事務所
監事	志村 洋一	港南区工業会 相談役	鶴見プレス工業株式会社 代表取締役社長

令和3年度横浜市工業会連合会委員会名簿

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
総務委員会	委員長	黒田 憲一	大洋建設株式会社	代表取締役社長
	副委員長	遠藤 昇	横浜ステンレス工業株式会社	代表取締役会長
	委員	和田 晃	東洋電装株式会社	代表取締役会長
	〃	小山 大輔	日本保安工業株式会社	専務取締役
	〃	高際 清彦	古河電気工業株式会社 横浜事業所	総務課長
	〃	山本 耕司	株式会社マック	代表取締役社長
	〃	鈴木 清	港南テクノクス株式会社	相談役
	〃	浅居 雄一	レイズネクスト株式会社	総務部長
	〃	大瀬 雅博	大瀬工業株式会社	代表取締役社長
	〃	武居 正則	株式会社武居商店	代表取締役
	〃	尾田 仁	株式会社官川製作所	取締役兼執行常務営業本部長
	〃	田島 圭一	株式会社田島精研	代表取締役

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
政策委員会	委員長	稲村直之	有限会社稲村建具	代表取締役
	副委員長	伊藤知之	日本貿易印刷株式会社	代表取締役社長
	委員	松尾文明	株式会社松尾工務店	代表取締役社長
	委員	北川隆和	株式会社北川製作所	代表取締役
	委員	花本高志	株式会社ダイイチ	取締役社長
	委員	岡部郁子	岡部産業株式会社	常務取締役
	委員	達知剛	株式会社プレスビット	代表取締役
	委員	栗原敏郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
	委員	関泰利	株式会社III 横浜事業所	総務部長
	委員	真鍋緑朗	アールグラット株式会社	代表取締役
	委員	梶田兼一	株式会社カジタ	代表取締役
	委員	安永平雄	イチコーエンジニアリング株式会社	代表取締役社長
	委員	高橋正徳	ヤマセ精機株式会社	代表取締役社長
事業・企画委員会	委員長	加藤卓郎	株式会社加藤組鉄工所	代表取締役会長
	副委員長	岩澤敏治	株式会社メディカルパワー	代表取締役
	委員	千葉護	株式会社京南	代表取締役
	委員	山口喜久雄	株式会社ヤマグチレッカー	代表取締役
	委員	浦野富士夫	株式会社セレバル	総支配人
	委員	江藤忠勝	有限会社龍昇堂	代表取締役
	委員	柳沼芳光	株式会社柳沼建設	代表取締役
	委員	露木健	株式会社東芝 横浜事業所	横浜事業所長
	委員	横山雅行	平和産業運輸株式会社	代表取締役
	委員	向井一馬	株式会社三和化成工業	取締役
	委員	平雅吉	三吉工業株式会社	代表取締役
	委員	金子一彦	三宝精機工業株式会社	代表取締役社長
	委員	中山貴義	社会保険労務士事務所 古間屋	代表
広報・産学委員会	委員長	松村洋一	協立金属工業株式会社	代表取締役
	副委員長	向後英夫	株式会社遠藤製作所	代表取締役
	委員	山本公彦	株式会社丸屋神奈川製作所	代表取締役
	委員	江森克仁	株式会社江森印刷所	代表取締役
	委員	関曙慶	曙建設株式会社	名誉会長
	委員	島田秀世	有限会社旅館松島	代表取締役
	委員	橋爪重信	新倅機材株式会社	代表取締役
	委員	寺井享	寺井印刷工業株式会社	代表取締役
	委員	宮島勝利	東京ガス株式会社 根岸LNG基地	総務部長
	委員	大村直樹	横浜鉄工株式会社	代表取締役
	委員	永井洋子	株式会社日立製作所システム&サービス総務本部総務グループ	総務グループ部長代理
	委員	南川拓也	株式会社ミナミ技研	代表取締役
	委員長	寺嶋之朗	プリンス電機株式会社	代表取締役社長
雇用・環境委員会	副委員長	久保田耕二	久保田建設株式会社	代表取締役
	委員	石井一登	石井建設工業株式会社	代表取締役社長
	委員	荒木郁雄	荒木工業株式会社	取締役社長
	委員	馬場智章	東亜道路工業株式会社	製造課長
	委員	成澤宏	医療法人社団成澤会清水橋クリニック	事務局長
	委員	坂本保	株式会社坂本興業	常務取締役
	委員	日野原技	株式会社村山製作所	代表取締役
	委員	黒岩勉	株式会社羽後鍍金	代表取締役社長
	委員	藤枝慎治	株式会社グリーン	代表取締役会長
	委員	加藤豊	第一カーボン株式会社	代表取締役
	委員	富澤昇	株式会社ブリダストン 横浜工場	総務部長
	委員	鈴木瑞貴	株式会社オースズ	代表取締役
	委員	河原章夫	東京電力パワーグリッド株式会社 鶴見支社	支社長
施策検討会	委員	小林真一	小林商工株式会社	代表取締役
	委員	桐ヶ谷修幸	株式会社桐ヶ谷工業所	代表取締役
	委員	高橋幸夫	かちどき特許事務所	所長
	委員	高木康志	高木弁理士事務所	所長
	委員	高野一哉	有限会社高野塗装	専務取締役
	委員	平野裕幸	株式会社平野製作所	代表取締役
	委員	梗間政幸	シナノ紙工株式会社	代表取締役
	委員	工藤圭亮	昭和建設株式会社	代表取締役社長
	委員	小川寛興	株式会社ライク	代表取締役
	委員	児玉聖司	株式会社ワン・ツー・ストック	代表取締役
	委員	増田孝一	岡谷セイケン株式会社	代表取締役
	委員	加藤亮	株式会社ホープデンキ	代表取締役
	委員	加藤高智	有限会社工研	代表取締役
	委員	清水敏博	一般社団法人L T Rコンサルティングパートナーズ	代表理事
	委員	藤澤秀行	株式会社ニッター	代表取締役

令和3年度

横浜市工業会連合会 事業計画

横浜市工業会連合会（市工連）では、令和3年度（2021）、「Ⅰ ものづくり活性化事業」、「Ⅱ 産業振興施設の管理運営」、「Ⅲ 市工連及び地域工業会の活性化」、「Ⅳ 法人運営（法人会計）」の4つの柱で事業を進めます。

Ⅰ ものづくり活性化事業

[25,817千円]

1 販路拡大事業

神奈川県下を対象にした大型商談会の開催の他、受発注情報の整備・充実を図り、販路拡大を促進するとともに、第43回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」では、成長産業分野の振興や小規模企業の需要開拓など機能充実を図ります。

（1）商談会等の開催

（公財）神奈川産業振興センターと共催で受発注商談会を開催します。

㊦ 受発注商談会 「オール神奈川」

開催方法：オンライン

㊩ 受発注商談会 「テクニカルショウヨコハマ2022」に合わせて開催

開催方法：検討中

（2）工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」の開催

（公財）神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催で首都圏最大級の工業技術見本市を開催します。

開催日：令和4年2月上旬

開催方法：検討中（パシフィコ横浜での会場展示、オンラインとのハイブリッド等）

（3）横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

ネットワークプラスを活用した企業紹介等、企業のビジネスチャンスの拡大を促進します。

※ネットワークプラスとは

市工連ホームページにおいて、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRをするとともに、発注企業や研究機関等が登録企業について、業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステム

（4）横浜市との事業連携

横浜市が成長戦略として進める、I・TOP横浜やLIP横浜、オープンイノベーションなどの施策について、会員への周知等、横浜市と連携

して事業推進します。

2 ものづくり人材育成支援事業

（1）新入社員合同研修

マナー研修のほか、「帆船日本丸」でのマスト登りや舳先渡り、甲板磨きや結索等の訓練による合同研修で、チャレンジ精神や協調性を養成し、企業の将来を託せる人材を育成します。

日程：令和3年4月15日（木）～16日（金）

会場：帆船日本丸・同訓練センター

（2）新入社員等フォローアップ研修・交流会

今年度入社された新入社員や中途採用で入社された方など、入社2年までの若手社員を対象に、会社の戦力として活躍する人材を育成するとともに、参加者の同世代ネットワークの形成を支援します。

（3）就職に関する懇談会の開催

県立高校等の進路指導担当教員と市内中小企業の経営者や採用担当者等を対象に、横浜市及び公共職業安定所との共催で、企業の採用情報や生徒の就職状況等について情報交換する懇談会を開催します。

日時：令和3年6月15日（火）14：00～

会場：横浜産貿ホール マリネリア

（4）ものづくりの魅力を伝える事業

㊦ 出前講座の開催

経営者や技術者が、高校生・大学生や職業訓練生に対し、中小企業の仕事ややりがいについて講演します。

㊩ 工場見学会の開催

就職指導教員と高校生・職業訓練生等を対象に、市内中小企業の工場見学会を開催します。

㊰ ものづくり企業紹介フェアの開催

神奈川県内の高校生を対象に、中小企業経営者の講演会及びテクニカルショウヨコハマ見学会を実施します。

（5）技術者育成支援事業

中小製造業の礎となる人材の育成、社内の技術力向上、技術承継を推進するため、従業員の資格取得に関する費用を助成します。

（6）多様な人材活用の支援

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、女性、高齢者、外国人など多様な人材の活用に関する情報提供を実施します。

(7) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

若年層やシニア、女性等の就職支援として、横浜市が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」インターンシッププログラムの受入企業募集に協力します。

(8) 中小企業の人材確保支援事業

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、横浜市経済局等と連携して事業を推進します。

II 産業振興施設の管理運営

[86,553千円]

1 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）事業

試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）を管理運営し、新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援します。

・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6

・施設内容：試作用賃貸スペース 全5区画
(1,265㎡)

2 横浜産貿ホール（マリネリア）の管理・運営事業

横浜産貿ホールを管理・運営し、産業と貿易に関する見本市や展示会などの開催の場を提供することで、神奈川県・横浜市内の産業の発展を支援します。

・所在地：横浜市中区山下町2番地

産業貿易センタービル
・施設内容：1F展示場（1,630㎡）
2F小展示室（70㎡）

1 地域工業会・事業会及び青年経営者会を支援するほか、5つの委員会を設け、各種事業を検討・実施します。

○総務委員会

○政策委員会

○事業・企画委員会

○広報・産学委員会

○雇用・環境委員会

2 情報発信事業

(1) インターネットの活用

ホームページ、メールマガジン等でタイムリーに情報提供します。

(2) 機関誌等の発行

・機関紙「よこはま市工連」を年2回発行し、各種情報提供するとともに、会員同士の交流を図ります。

・情報紙「市工連かわらばん」を年6回発行し、各種事業について周知を図ります。

3 すぐれたアイディア提案者表彰

会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイディア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰します。

4 会員企業等のネットワークの活性化

(1) 会員企業間の情報交換の場の創出

(2) 各委員会の交流の活性化

5 会員サービス事業

「災害共済」「労災保険」などの各種福利厚生事業を実施するとともに、市工連独自のPL保険への加入を促進します。

また、会員サービスの向上につながる団体割引等の取りまとめをします。

III 市工連及び地域工業会等の活性化の取組み

[10,033千円]

IV 法人運営（法人会計）

[9,397千円]

総会・理事会の開催などにより、市工連を運営します。

◆ 会員情報交換 ◆



看板等も施工いたします
神奈川県屋外広告業登録 第1970号
横浜市特例屋外広告業届出 第2471号

印刷 デザイン 製作

**3Dスキャニング
モデリング**

**屋外広告物
デザイン施工**

DM発送代行

有限会社 双葉印刷所

〒236-0002
横浜市金沢区鳥浜町2-13
TEL 045-353-8531
FAX 045-353-8534
www.futaba-printing.co.jp



つなぐ、くみあう、くみあう
金沢区活性化委員会



YOKOHAMA
地域貢献企業



2019
横浜健康経営

地域工業会 新会長へのインタビュー

南事業会 会長 横山敦子 様（株式会社エステック 取締役会長）

南事業会について

平成3年に前身の工業会に入会してから早30年がたっていました。来年は当事業会も40周年を迎えることとなり、会員名簿に目を通すと、我が社も古株の企業になっていました。

前任の斎藤会長が大変穏やかな方でとても癒され、そのあとを引き継ぐ私といたしましては、「落ち着け！落ち着け！」と言い聞かせながらの、スタートとなりました。

南事業会は昔からの地元事業家が多く、下町特有の気質が残っており、その特徴を十分に生かしアットホームな雰囲気を忘れずに、これからもチームワークよく頑張っていきたいと思っています。

会社経営とこれからについて

30歳少し前に南区の蒔田で建築資材販売業を設立し、紆余曲折、もうだめかと何度も思ったことがありましたが、周りの方たちの応援やらアドバ

イスやらをいただき、本当に感謝あるのみです。

今年無事に事業承継も終わり、会長という役職を一度に二つ頂きました。私の事業家人生は、南区蒔田から始まって蒔田に戻ったので、残された時間も地元になんとか恩返しができればと考えております。

趣味（生きがい）について

毎日、忙しい日々を送っておりますが、今年はソフトボール人生45年、沖縄県でのソフトボール全国大会・神奈川県代表（???）になり、コーチとして行ってくる予定です。



横浜青年経営者会 会長 藤澤秀行 様（株式会社ニットー 代表取締役）

会社の経営について

先行きが不透明な上、目まぐるしく変化する時代に、経営者は足元を固めながらも将来を見据えてさまざまな判断をしなくてはなりません。一方、近年のAIやIoT等の先端技術の急速な発展は、ビジネスシーンにも圧倒的な変革をもたらします。これからの経営者は、それら先端技術も積極的に取り入れ、柔軟に活用することが必要です。本年年度の横浜青年経営者会のテーマは「足元を固めながらも、変化とチャレンジ」として活動します。

最近の趣味について

私の最近の趣味はマラソンです。2019年に横浜青年経営者会のメンバーに誘われて一緒に横浜マラソンに出場しました。自分一人だけでは練習を続けるのも困難で、フルマラソンを完走するなど到底難しいことです。しかし、一緒に練習してきた仲間がいることで、途中でリタイアせずに無事

完走できました。改めて仲間の存在の大きさに気付かされました。そして今年も、仲間と一緒に横浜マラソンにチャレンジします。

横浜青年経営者会について

会社経営もマラソンと似ています。ゴールが見えない中、ペースを崩さず走り続けなければなりません。この経営のマラソンも一人だけでは挫折してしまいます。同じ境遇の仲間がいることで、相談にのってもらったり、学び合ったりすることで、走り続けられます。横浜青年経営者会は、素晴らしい先輩や情熱的な後輩など素晴らしい仲間がいる会であります。これからも仲間と一緒に、最高のゴールを目指し、経営者として走り続けます。



「テクニカルショウヨコハマ 2021」が オンラインで開催されました

「テクニカルショウヨコハマ2021」（第42回工業技術見本市）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、今年2月にオンラインで開催しました。昨年に比べて数は減りましたが、592の企業・団体が577ページの出展をしました。新たな働き方や生活スタイルを提案する「ニュー Working・Life スタイル」ゾーンをはじめ、「ロボット」、「AI・IoT」、「加工技術」、「機器・装置・製品」、「研究開発」、「ビジネス支援」の7つのゾーンと団体出展コーナーを設置しました。初めての試みとしてのオンライン開催でしたが、写真や動画などを用いて、自社の製品や技術力を積極的にアピールしたページが展開されました。

●開催概要

会 期 令和3年2月15日（月）～26日（金）
会 場 テクニカルショウヨコハマ公式ホームページ
開催規模 592社・団体 577ページ出展（昨年：830社・団体）
閲覧者数 55,162名（昨年会場来場者：32,995名）

●出展者アンケート結果

1 満足度について	2 出展成果について
満足 8.7%	期待以上の成果があった 1%
やや満足 30.3%	成果があった 4%
やや不満 42.3%	多少成果があった 27%
不満 18.7%	成果がなかった 52%
	わからない 16%



出展者の満足度（満足39%）や成果（あり32%）のアップ、また様々な課題については、次回開催に向けて、改善策を検討していきます！

セミナープログラム

主な「主催者セミナー」として、以下の2つのセミナーが開催されました。

■「5Gによって描かれる製造分野の未来」 （横浜市経済局主催）

講師：株式会社ドコモCS 神奈川支店
法人営業部長 宮本 薫氏

内容：5GはAI・IoT・ビッグデータ・XRの組み合わせにより、様々な産業が抱える社会課題の解決や産業の発展を期待されています。ドコモでは、ドコモオープンパートナープログラムにより、多くのサービス、ソリューションをパートナー企業様と共に協創することで、デジタルトランスフォーメーション時代のビジネスを見据えた5Gの価値創出を続けています。本講演では、「5Gの動向」と「5Gが描く製造業の未来」を様々な活用事例を交えながら紹介しました。



■「モビリティ社会の未来を切り拓く技術革新と挑戦」 （公益財団法人神奈川産業振興センター主催）

講師：日産自動車株式会社専務執行役員
アライアンスSVPパワートレイン
&EV技術開発本部 平井 俊弘氏

内容：未来のモビリティ社会が人々のより豊かな生活とサステナビリティを両立するものであるために、クルマの魅力を高める技術革新から、カーボン・ニュートラルを実現するための社会づくりまで、日産の取組みを紹介しました。



令和3年度(第34回)新入社員合同研修

今回で34回目を迎える市工連主催の「新入社員合同研修」。帆船日本丸の海洋教室の訓練を含む合同研修によってチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材を育成することを目的として、4月15日（木）～16日（金）に開催されました。

昨年度は、4月16日～17日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス対策のための緊急事態宣言が4月7日に神奈川県にも発出され、帆船日本丸が休館となったことから中止しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがつかない中、感染対策を十分に取りながら実施しました。具体的には、マスク常時着用やアルコール消毒、人との距離をとることの他、グループワークでは3人で1グループ（1グループのみ4人）とし、1人で1本の机を使い、常時換気をしました。

研修では、講義やグループワークでビジネスマナーを学ぶとともに、ロールプレイで電話応対や役割を決めての報連相を行いました。また、「帆船日

本丸」の海洋教室として、日本丸のビデオ鑑賞や船長の講話を聴くとともに、甲板磨き、マスト登り（登橋：とうしょう）訓練、ロープ結び（結索）訓練に参加しました。

今回は18歳から24歳までの8社34名（男性29名、女性5名）が参加。雨も心配でしたが、当初のカリキュラムで実施できました。

参加者の感想からは、「いろいろな体験ができて成長できた」、「違う企業の社員と協力し合うことで刺激になった」、「参加させてもらったことに感謝している」、「自分のできることは全力でやっていこうと思った」、「自分の課題が発見できた」、「チームで動くときどう考えればいいのか学ぶことができた」、「コロナの中、実際に研修を受けられてよかった」など、それぞれに深く感じるものがあったようです。

この研修は、受講生の皆さんや参加企業様の満足度の高い研修ですので、来年度も是非ご参加ください。



＜研修カリキュラム＞

《第1日目》	時 間	内 容
4月15日(木)	午 前	*開講式（榎本市工連会長他の挨拶） *マナー研修（講義、グループワーク、ロールプレイ）
	午 後	*電話応対、報連相（講義、グループワーク、ロールプレイ）

《第2日目》	時 間	内 容
4月16日(金)	午 前	*甲板磨き *日本丸のビデオ鑑賞／船長の講義「帆船を用いた研修の意義」 *船内見学、結索訓練
	午 後	*登檣訓練（マスト登り）、結索訓練 *感想文作成、口頭発表会 *閉講式・認定書授与

●●● 市工連 新入社員合同研修を受講して ●●●

（会社名・50音順）

海洋電子工業株式会社 （横浜市金沢団地協同組合）

笠松 奎吾さん

今回、新入社員合同研修に参加して、特に印象に残ったことが3つあります。

1つ目が、他企業の新入社員の方々と協力をし、研修を行ったことです。今まで海洋電子工業の新入社員とは、2週間にわたり研修を行ってきたため、ある程度お互いの人柄を知ることにはできていましたが、今回の研修で大きく背景も異なる他企業の新入社員と協力し合うことで、自身にとって良い意味で刺激となりました。

2つ目が、ビジネスマナー講習において、ロールプレイを行い、リアルに仕事に触れることができた点についてです。ロールプレイ内では、嫌味な上司や先輩社員、新入社員を演じ分けることで、それぞれの立場でどういった質問をどのようにしたりされたりするとスムーズに仕事を進めることができるの

かを体感し、今後の仕事に直結して考えることができることから、特に印象に残りました。

3つ目が、帆船日本丸での研修における登檣訓練です。私は東京海洋大学に在籍していたため、2代目の日本丸での乗船実習を行った経験があります。ただその中で登檣訓練は行っておらず、いつか参加してみたいと考えていました。そして今回そのチャンスを頂き、訓練に参加してみると、思っていた以上に高く、また足場が不安定で非常に恐ろしかったのですが、指示されたことを守り続けることで、何とか無事に戻ることができました。ここで、上司や先輩からの指示や命令に従うことは、安全を守ることにおいて重要となってくることを学ぶことができたことから、印象に残りました。

他にも学べたことは多くあり、そのどれもが今後業務を行っていくうえで大切となることだと思います。よって、そのことを忘れず、生かしていこうと思います。



株式会社佐々木鉄工所（みなと工業会） 大森 崇次郎さん

今回参加した研修で私の印象に残ったことは、報連相のロールプレイです。実際に起こりえるシチュエーションで役割を決め行うのが初めてで、たくさん学べるがありました。

例えば、私は早口で曖昧な指示の場面で新入社員の役をやったとき、最初に何をやったらいいのかわからずとまどって、何もできませんでした。少したって課長に相談をするとき、敬語をうまく使えず、言葉遣いがめちゃくちゃになってしまいました。その後の電話で指示を聞き直すときも、用件をまとめることをせずに電話をかけてしまい、一つの指示しか聞くことができず、「何度も電話をかけ指示を聞く」

の繰り返しになってしまいました。もし報連相のロールプレイを行わず、このシチュエーションと同じことが起きたら焦って何もできなかったと思います。でも、報連相のロールプレイを行ったことで、私に何が足りなかったのか、どこをどう改善していけばいいのかが見えてきたので、この研修で行ったことはとてもいい経験になりました。これからも研修で学んだことを生かして、頑張っていきたいと思います。



産和産業株式会社（みなと工業会） 上杉 夏輝さん

2日間の研修の中で印象に残ったことは2つあります。1つ目は報連相のロールプレイ、2つ目は甲板磨きです。

1つ目の報連相のロールプレイでは横柄な上司から頼まれた仕事を進めるために、5W4Hの情報を聞き出す必要がありました。実際の仕事に置き換えて考えたときに直すべき点があると感じました。上司へ聞きに行くとき姿勢、内容をあらかじめまとめて

簡潔に話をすることに注意していきたいです。

2つ目の甲板磨きでは、毎朝どんな天気であれ、甲板磨きを行うと聞いたことが印象に残っています。一往復しただけでも疲れてしまうような作業なのに、2、3往復するのは本当に大変だろうと感じました。毎日繰り返し行う業務であっても、その業務の意味を理解した上で、誇りをもって取り組みたいです。

最後になりますが、貴重な体験ができたことに感謝いたします。関係者の皆様、ありがとうございました。



日本自働精機株式会社（戸塚泉栄工業会） 岡田 凌空さん

今回の2日間に及ぶ日本丸での合同研修は、普段の業務では経験できない貴重な体験ができました。いろいろな会社の方と交流を持つことで、様々な考え方を分かち合うことができ、とても有意義な2日間でした。

初日のマナー研修では色々なビジネスマナーを学ばせていただきましたが、その中でも電話応対が印象に残りました。自分の声を録音して聞いてみると

思ったよりも暗くて印象が良くありませんでした。そこでソの音（※注1）を意識しながら話してみたり、笑声（えごえ、※注2）を意識しながら話してみると前よりもずっと印象が良くなりました。ですので、このことをしっかりと自分に定着させて、普段の業務で活かされるようにします。

また、言葉遣いなども今回の講義を受け、気をつけようと思いました。私自身、尊敬語と謙譲語の使い分けがあやふやになっているときがあったので、社会人として恥ずかしくないよう今後は注意していきたいと思います。

次に今日の日本丸、船上での訓練は今までやったことのないものばかりで、新鮮で非常に楽しく感じました。今日も色々やりましたが、マスト登りがとても印象に残りました。登るときは常に三点支持を意識して登るなど、安全を考えながら行わなければいけないと知り、このような安全第一の作業に徹

するのは普段の工場での作業にも言えることだと思います。今後作業にあたる際は、常に安全を考えながら行いたいと思います。

※注1：ソの音の高さが聞いていて心地よい

※注2：笑顔で話す声など相手に心地よさを与える声のこと



株式会社野毛電気工業 (一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会) 濱田 美歩さん

入社後初めての社外研修を無事に終えることができ、安心の気持ちでいっぱいです。

1日目はグループワークを通じてビジネスマナーについて教わりました。グループのメンバーは初対面でうまくやっていけるか不安でしたが、終始和やかな雰囲気で行うことができ良かったです。ビジネスマナーは、社内で動画を見ることはしましたが、今回は直々に教わることで、とても良い機会になりました。特にプレゼンや電話のところで佐々木先生をはじめ、様々な方から助言をいただけたことは良かったです。良いところは伸ばしていけるように、指摘されたところは、常に直すように意識し、改善できるようにしていきたいと思いました。他の3人の皆さんがいろいろと発言してくださったおかげで、グループが優勝できたことはとてもうれしく強く印象に残りました。

2日目は日本丸の船上での研修ができました。甲板磨きやマスト登りといった、体を使うワークは面白かったです。甲板磨きは短距離をやっただけでも腕や足が辛くなり、これを毎朝やっていらっしゃる船員さんはすごいなと思いました。船長のお話では、「好きこそ物の上手なれ」、「石の上にも三年」のことわざを贈ってくださいました。この言葉を忘れないようにします。

結索訓練は予想より上手くできたので嬉しかったです。最後のマスト登りでは、言われたことをしっかり守ること、一步一步確実に進んでいくことの大切さを身をもって体験することができました。

今まで、社内だけで研修をしていたので、社外へ行き、社外の方と研修を受けることができたのはいい刺激になりました。コロナ禍でもこのように対面で研修を受けられて良かったです。この2日間の研修のことを初心として忘れず、今後の社会人生活も過ごしていきたいと思います。2日間、大変お世話になりました。どうもありがとうございました。



メルビック電気株式会社（神奈川工業会）

高瀬 愛朗さん

昨日と今日を含めた2日間の研修指導を行っていただき誠にありがとうございました。

1日目は日本丸へは乗らず1日全てマナー講座で、他社様でマナー講座は既に2度受けていて今回で3回目でした。なので、最初はあまり気が乗らずにいたのですが、佐々木先生の熱意と迫力につられて、とてもやりがいのある講座になりました。班長をやらせてもらったのはもちろん、報連相ゲームや全員での電話応対など、実際にシミュレーションでやることで座学だけでは身に付かないこと、佐々木先生や班員に確認していただいて見つかったミスなど、多くの知識と経験を得ることができました。私の仕事柄かなりの電話と会議を積み重ねていくことになりますので、マナー講座のことを忘れないよう「ソの音」（※注）で会話していきます。

2日目は日本丸が実際どのようにして使われていたか教えていただきました。実習生の練習に日本からホノルルまでの往復約90日のために使われていました。実習生はガスを使うと火事の恐れがあるため蒸気で調理したり、20名の制服をタライたったの4杯分で洗っていたりと過酷な状況で頑張っていたのが分かりました。私たちはその過酷な作業の中の甲

板磨き、結索訓練、マスト登りの3つを行わせていただきました。

甲板磨きは靴を脱いで裸足になり、水を撒きヤシの実で甲板をこすり磨くのですが、今回春だったからよかったものの、冬だとかなり過酷なのだろうとゾッとしました。結索はとても楽しかったです。クラブヒッチやシートペントなど、バーベキュー等でも使えるテクニックにとっても関心をもち楽しくできました。マスト登りはとても怖かったです。二度とやることはないと思い勢い余ってやったものの、足がかなり震えてしまいました。

この2日間とてもいい体験になりました。二度とない経験を覚えておきます。ありがとうございました。

※注：ソの音の高さが聞いていて心地よい



株式会社山喜

（一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会）

小林 大介さん

令和3年度新入社員合同研修は、このコロナ禍で開催できてとてもいい経験になったと思うし、なかなかできない体験をしたと思いました。

1日目は佐々木さんの基本に基づいた実践的なビジネスマナーを受講しました。自分はビジネスマナーがとても必要だと思っています。佐々木さんが言っていた「ビジネスマナーは武器になる」という言葉が自分の中でものすごく響きました。ビジネスマナーができていると、自分も恥をかかないし会社にも恥をかかせないと思うし、これから色々なことがあるのでこの研修を思い出して、実際に使っていきたいと思っています。

ロールプレイをしたときには、自分のできなさがすごくわかりました。5W2Hを使って答えを見つけていくことがものすごく難しいと感じました。もし、このような場面になったら5W2Hを使って答えを見つけていきたいと思っています。

2日目は甲板磨きに自分はびっくりしました。まさかヤシの実で磨いているとは思っていませんでした。朝に裸足で磨くのはとてもいいトレーニングになると思いました。

この研修の伝統とも言われているマスト登りはどういう人生で最初で最後の経験だと思います。こういった研修に出させていただけのことに感謝して、この研修でやったことを忘れないで、これからの社会人生活を楽しんでいこうと思った研修でした。このような経験をさせていただいて、ありがとうございました。



横浜容器工業株式会社（神奈川工業会）

中嶋 竜聖さん

今回新入社員合同研修を受けて身になり印象に残ったことは、まず1日目のビジネスマナーについてです。その中でも印象が強かったのは第一印象の重要性についての話です。その中で視覚情報と聴覚情報だけで約90%の印象がついてしまうとの話でしたが、その2つが完璧であっても言語情報がないと駄目だという話がとても興味深かったです。また、電話での会話になると聴覚情報が86%、言語情報が14%となるようで、実際に電話の音声を聴いてみると確かにどちらかが欠けているととても聴きづらくなっているのが分かって勉強になりました。

マナー研修でもう一つ印象に残っているのは報連相のロールプレイです。実際にありがちなシチュエーションのロールプレイで、そのようになってしまった時の対処の仕方等を学ぶことができて良かったです。

2日目の日本丸の研修についてですが、何故この研修をやるのかの説明で、船の環境は仲間との連携を高めたりすることを効率的に行えるという話を聴いて、理解することができました。日本丸でマスト登りする体験では、安全行動をするということと、勇気について学ぶことができ、自分ができそうにないことはしっかりと言うということも学ぶことができました。

大変貴重な体験ができて、とても良かったです。



令和2年度 新入社員フォローアップ研修

令和3年2月19日（金）に新入社員フォローアップ研修を実施しました。この研修は、新入社員等が2年目を迎えるにあたって、ステップアップをするための研修で、2社3名の参加（全員女性）がありました。

今回は2回目の緊急事態宣言（1月8日～2月7日）が、3月7日まで延長された中でしたが、広い会場（産貿ホール大ホールの一部）で一人1テーブルを使用し、換気をするなど万全の対策をとって開催しました。

研修のカリキュラムは以下のとおりです。

- <午前> ○入社後を振り返って自分の仕事の進め方を再認識する。
- 自分の職場を振り返って仕事上の問題点や克服法を参加者で共有する。
- <午後> ○クレーム対応の実践で、ビジネスマナーに基づく話し方を再認識する。
- ハイポイントインタビューで、自分の強みと課題を客観的に認識する。
- 前向きなマインドの構築のために、「信念を言葉化」する。

参加者の皆さんは、仕事とは異なる場で課題に必死に取り組み、他の参加者の課題や強みを共有し、前向きなマインドがもてたようです。皆さまの今後のご活躍を願っています。



地域工業会 事務局訪問

■鶴見区工業会

鶴見区工業会の事務局は JR 鶴見駅東口ロータリーの左手奥、京急鶴見駅横にある横浜銀行鶴見支店の3階にあります。

鶴見区工業会は横浜市鶴見区を中心に約170社で構成する個性ある経営者の団体で、活動は、行事や事業を通して会員相互の業種を超えた交流、各種情報提供、社会貢献、行政への産業振興上の要望など幅広く活動されています。会長はプリンス電機株式会社代表取締役社長の寺嶋之朗さん、事務局長は今年で9年目となる長嶺憲一郎さんです。(写真下)

長嶺さんの話では、

「鶴見区工業会の特色としては大企業から中小企業まで入会していることです。役員や会員の方々が協力的で事務局としては助けられています。」



現在の悩みは会員が170社を前後しながら、なかなか増えていかないこと。

昨年はコロナ禍ではありましたが、バス利用を断念し、現地集合・現地解散などの工夫で日帰り研修などある程度の事業は実施できました。来年の1月・2月には今年中止の賀詞交換会や講演会を開催できたらいいのですが。」とのこと。

事務所の窓から目の前に京急鶴見駅のホームが見えるのがとても印象的でした。



■神奈川工業会

神奈川工業会は JR 大宮駅西口ロータリーの左手最初の通りをすぐに左折し4分ほど歩くと、左側に横浜信用金庫大宮支店があり、その3階にあります。



神奈川工業会は昭和21年4月創立で今年76周年を迎えます。神奈川県を中心とした100社の企業が会員で、地域、企業、人と人が繋がる異業種交流の場としてさまざまな活動をされています。

会長は株式会社桐ヶ谷工業所代表取締役の桐ヶ谷修幸さん、事務局長は今年10月で4年目を迎える江藤雅一さんです。(写真下)



江藤さんによると、「神奈川工業会は工業系から始まったが、今では異業種の会員が増えている。製造業の大企業から小企業までは勿論のこと、印刷業、不動産、コンサルなど、昔とは構成がだいぶ変わってきた。これからは、工業会のあり方などがとても重要になってくると思う。」

また、100社のうち17社が賛助会員で、昨年はこの賛助会員の協力を得て、インフルエンザの予防接種の機会を会員に提供した。

今年は昨年できなかった研修会や8月の暑気払い、そして年に一度の節目となる新年賀詞交歓会を是非実施できたらと思う。」とのこと。



写真はこれまでの鬱々した気分を吹き飛ばそうと5月27日に開催した春季ゴルフ大会参加者の皆さんです(残念にも雨)。

市工連からのお知らせ

横浜市就職サポートセンター事業 ～インターンシップ受入れ企業募集～

横浜市就職サポートセンターでは、採用意欲のある企業様と、若年者、再就職に意欲のある女性、さらに社会経験を積んだシニアの方との橋渡しを行っています。インターンシップを通して採用した人材は定着率が高いとのこと、是非ご活用ください。

【インターンシップのためのマッチング交流会】（対象：若年者及び再就職女性）

開催日 令和3年10月及び令和4年1月（予定）

募集企業 16社程度

※マッチング交流会：就職希望者に対し企業説明を行います

【シニア向け就職支援プログラム】

開催日 令和3年11月及び令和4年2月（予定）

対象年齢 55歳～59歳

就職サポートセンター事業は、株式会社パソナが横浜市より運営を受託し、市工連が協力しています。インターンシップ受入れにご興味のある企業様は、ぜひ就職サポートセンターにご連絡ください。

お問い合わせ：就職サポートセンター TEL 045-548-3132

（就職サポートセンター事務局は横浜市技能文化会館（横浜市中区万代町2-4-7）に移転しました）



技術者育成支援事業のお知らせ ～充実した支援に拡大予定!!～

「技能士」は、技能検定に合格した人に与えられる国家資格です。

市工連では、これまで「技能士」となるための、技能検定の受検費用を負担した市工連会員企業に対し、受検手数料を補助してきました。（学科、実技の両方に合格した場合）

今年度は、製造業だけでなく「技能検定」全体に枠を広げ、更に、受検費用の他に、受験前に受けた講習会の費用などについても補助いたします。

前期・後期の申請が出そろった10月1日に受付を開始しますので、受験票の写しや、領収書の保管等をお願いいたします。

申請受付は、先着順とし、予算に達した時点で募集を締め切ります。

新しい要綱は、7月2日に市工連ホームページ上に公開しました。

お問合せ （一社）横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051

◆ 会員情報交換 ◆



何がどこにいくつあるのか
まとめて読取・記録します

一括スキャンで
在庫管理がラクになる！

moni-stock

モニストック

入出庫・棚卸
時短

リアルタイム
記録

手作業・目視の
ミス防止

詳しくはウェブサイトをご覧ください！



株式会社ジェイエスピー
横浜市西区高島 2-6-32
横浜東口ウィスパートビル 11F
TEL : 045-444-3470
E-mail : moni-stock@jispnet.co.jp



令和3年度横浜市予算に対する産業振興に関する 要望についての横浜市からの回答

市工連では昨年秋、令和3年度の横浜市の予算編成にあたり、市内の産業振興を図るための政策提言及び要望をまとめ、要望書として提出しました。

このたび、横浜市から、次のとおり回答がありました。重点要望の回答の要旨のみ掲載しますが、全文は市工連のホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

【重点要望】

1 新型コロナウイルス関連

- (1) 補助金等の継続的な支援及び拡充並びに迅速な支給

【回答】

- ・設備投資の助成をはじめ様々な支援制度で、市内中小企業を支援
- ・申請書類の簡素化や手続きの簡略化等を検討

- (2) 支援策のわかりやすい一覧化

【回答】

- ・市ウェブサイトの特設ページに一覧表を掲載
- ・対象者に必要な情報を届ける発信方法の工夫

- (3) 台風被害とコロナ関連の別枠での保証設定

【回答】

- ・台風及び新型コロナウイルス感染症を通常の融資枠とは別枠で本市を指定地域として発動
- ・「セーフティネット保証4号」の指定期間（令和3年6月1日まで）の延長を、必要に応じ、国に要請

- (4) 中小企業が取り組みやすい手続きの簡素化、電子手続等の推進及び説明会の実施

【回答】

- ・事前エントリーを電子申請手続きにし、申請書類を簡素化。説明会に代え動画を配信
- ・セーフティネット保証等の認定では、提出書類の簡素化、金融機関による取りまとめ申請、インターネットによる認定申請に対応。経済局が実施する調査の一部をオンライン化

- (5) 雇用継続の支援の継続と時差通勤など働く人の不安を取り除く取組みに対する支援

【回答】

- ・雇用調整助成金等、雇用継続を支援する制度の拡充や延長を国に要望
- ・企業の先進的な取組や有効な支援メニュー等を紹介するセミナーなど、効果的な情報発信や普及啓発。労働相談業務による働いている方の相談等への対応

- (6) 公共工事の前倒しと市内業者最優先の発注の推進

【回答】

- ・本市工事の発注は、市内中小企業者への優先発注を基本方針
- ・適切な分離・分割発注で中小事業者の受注機会を確保

- (7) IT化への施策強化等対応を促進するための継続的な支援制度

【回答】

- ・IDEC横浜のIT・IoT導入相談事業と連携し、相談から導入までの一気通貫のサポート体制
- ・テレワーク導入等の企業の相談をIDEC横浜で受付け・支援。成功事例を交え動画を配信

- (8) 中小企業の経営に関するノウハウや成功事例のような有識者の提言集の作成

【回答】

- ・テレワーク導入のポイントや導入後の効果的な運用方法などを、成功事例を交え動画を配信

◆ 会員情報交換 ◆

超再生®

最高の技術提供はあたり前 あたり前を忘れず…

私達は、お客様より感謝の言葉を頂き、その言葉を
原動力としプラスアルファのサービスを提供いたします。

- 工作機械のオーバーホール、レトロフィット(改造)
- 専用機及び治具の設計・製作
- 部分改造、部分修理、定期メンテナンス(精度測定)
- 制御用ソフトウェア、移設工事、技術者派遣

そして ロボットエンジニアリング

60年以上の経験を持つ、弊社にお任せください



三寶精機工業株式会社

〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町405番地
TEL 045-822-3561 FAX 045-824-0151

eigy@sanpo-seiki.com
https://www.sanpo-seiki.com



(9) 海外往来制限の影響に対し国への働きかけ

【回答】

- ・ジェットロと連携し、市内企業のオンライン展示会への参加や越境ECの活用促進

2 操業環境の改善

(1) 工業系地域活性化・安定した操業

- ㊦ 住工共生のためのものづくりへの理解促進
- ㊩ 近隣環境対策・操業環境整備への支援

【回答】

- ・ものづくりの仕事やその重要性、雇用の場であることを地域に理解してもらう取組に対して、「ものづくり魅力発信助成金」で、支援
- ・工業地域及び準工業地域における共同住宅の建築計画を提出した建築主に対して、周辺工場との良好な関係を築くための指導

3 販路拡大

(1) 展示会への出展支援

【回答】

- ・「ものづくり魅力発信助成金」は、横浜市内の二者以上の中小製造業で実施する新製品の開発・販路開拓等を行う事業の活動経費を助成
- ・本市主催・共催以外の展示会、商談会等への出展も助成の対象に、企業間の連携の促進、中小製造業の競争力強化に寄与する取組を支援
- ・令和3年度以降もコロナウイルスの状況を踏まえ、中小企業の商談機会創出に向け支援

(2) 公共事業発注の際に地元経済の活性化につながる発注の仕組みの検討

- ㊦ 市内の地域貢献認定企業への優先発注

【回答】

- ・平成24年度下半期から、「横浜型地域貢献企業」に対して、インセンティブ発注を実施

- ㊩ 地元企業発注の実施

【回答】

- ・市内中小企業者への優先発注を基本方針
- ・透明かつ公正な競争及び契約の適正な履行の確保に留意し、適切に分離・分割発注

- ㊧ JV発注工事における構成員参加条件の緩和（業種JVの実施）

【回答】

- ・国の「共同企業体の在り方」に則り、技術力の結集、リスクの分散が必要な大型の工事の発注に際して、技術力結集型JVを採用

- ㊨ 発注時期の平準化

【回答】

- ・①「早期の発注」の推進②設計や積算のスケジュールの調整による「発注時期の分散」③閑散期対策としての「年度を跨ぐ工事の発注」の3点について、バランスを考えながら推進

- ㊩ 適正価格での下請けの受注

【回答】

- ・社会情勢を見極めながら入札参加条件を弾力的に設定
- ・文書を配布し、適正な価格での下請契約を依頼
- ㊧ 下請けいじめ防止の対策

【回答】

- ・適正な賃金や法定福利費を反映した下請契約締結等の要請

4 人材確保・育成

(1) 多様な人材活用のための職場環境の整備

【回答】

- ・国や県、関係機関と連携し、先進的な取組や支援メニュー等を紹介するセミナーを開催
- ・テレワーク導入等に当たっての企業からの相談をIDEC横浜で受け付け・支援
- ・テレワークの効果的な運用や女性の活躍推進等のセミナー動画を配信
- ・市内中小企業への外国人受入支援

5 ものづくりの活性化のための支援

(1) 競争力を高めるためのIoT導入支援

【回答】

- ・IDEC横浜のIT・IoT導入相談事業で、専門家を企業へ派遣し、悩み全般に対する支援や実際の設備等の導入経費の一部を助成
- ・中小企業の導入現場の視察会やセミナー等で身近な導入事例にふれる機会を提供

◆ 会員情報交換 ◆

個人から企業様、1個から量産ロットまで
一般製造業、自動車、航空関連、インテリア
など様々な素材に対応いたします。
お客様のご要望に最適な方法で
製品を最高の品質に仕上げます。

阿蘇工業株式会社

〒245-0003
横浜市泉区岡津町2259
TEL 045-811-0278
FAX 045-812-5907
email yokohama@aso-kk.co.jp
URL <https://www.aso-kk.co.jp>

事業内容 バフ研磨

令和3年度

横浜市経済局の支援制度のご案内

資金繰り支援（中小企業制度融資）

新型コロナへの対応

◆新型コロナウイルス 伴走支援特別資金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小企業の皆様が、金融機関との対話を通じて経営行動計画を策定し、経営改善等に取り組む場合に国が信用保証料の一部を補助します。

■ 内 容

- 融 資 額：4,000万円以内 ○利率：0.9%以内～1.6%以内
- 融 資 期 間：運転・設備10年以内（うち据置期間は5年以内）
- 信用保証料率：0.20%（原則0.85%に対して国が0.65%を補助）

■ 主要要件

- 売上高が15%以上減少していること ○経営行動計画を策定していること
- 危機関連保証、セーフティネット保証4号・5号のいずれかの認定を受けていること

◆新型コロナウイルス経済変動対応資金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小企業の皆様に対応した融資メニューです。

■ 内 容

- 融 資 額：2億8,000万円以内 ○利率：0.9%以内～1.6%以内
- 融 資 期 間：運転・設備10年以内（うち据置期間は1年以内）
- 信用保証料率：0.315～1.620%
（融資額5,000万円を上限に、横浜市信用保証協会が0.1%割引、横浜市が1/10助成）

■ 主要要件

- 新型コロナウイルスの影響を受け、最近1か月の純売上高もしくは売上高総利益率が、最近3か年のいずれかの同月と比較して、5%以上減少している方

まずは、お取引のある又は最寄りの金融機関にご相談・お申込みください。

設備投資への支援

成長・発展・チャレンジを後押し！

◆小規模事業者設備投資助成金（一般型）：6月21日（月）～【予算到達時点で締切】

小規模事業者（個人事業主を含む）が業務の改善や生産性向上のために、新たな設備などを導入する費用を助成します。

■ 主要要件：○横浜市内に事業所・営業所等がある小規模事業者又は個人事業主

○業務上で用いる設備であり、導入によって業務改善や生産性向上が見込まれること

※令和2年度の小規模事業者設備投資助成金及び令和2年度・3年度小規模事業者設備投資助成金（特別相談型）の交付を受けた事業者は対象外

（対象経費の例）設備、機械、装置、備品又はソフトウェア等の導入に係る費用

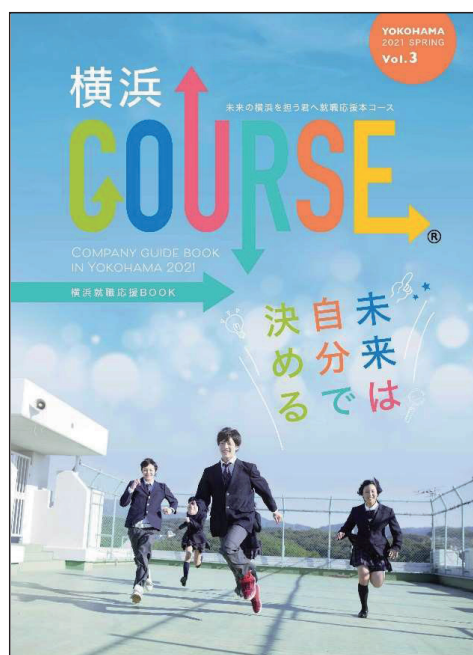
■ 補 助 率：1/2 補助限度額：10万円

■ お問い合わせ先：【商店街にある小規模事業者】 横浜市経済局商業振興課 ☎ 045-671-3488

【その他の小規模事業者】 横浜市経済局ものづくり支援課 ☎ 045-671-3489

制度の詳細は、横浜市HPをご覧ください。

◆ 会員情報交換 ◆



横浜の高校生にダイレクトに届く 高校生就職応援BOOK【COURSE】

高校生が知りたい“職場の雰囲気”や“先輩社員の声”を、ビジュアル主体の明るい誌面にのせて、企業の魅力をわかりやすく伝えます。



「魅力を伝える三本柱」として、

- ①経営者の想い...安心感・安定（保護者向けメッセージ）
- ②先輩従業員・仕事仲間の声...安心感（生徒向けメッセージ）
- ③仕事内容や職場の雰囲気...やりがい・希望（生徒向けメッセージ）

株式会社ホープデンキ COURSE横浜運営事務局
〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山一丁目12番3号
website: <http://www.hope-dk.co.jp>
COURSE横浜: http://webcourse.jp/kanagawa_yokohama
TEL: 045-934-6087 FAX: 045-934-6394
mail: i-furukawa@hope-dk.co.jp 営業担当: 古川





株式会社 大協製作所



本社・横浜工場 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町1125 TEL 045-351-1121 FAX 045-351-1105
福島工場 福島県西白河郡矢吹町井戸尻489-1 TEL 0248-44-5817 FAX 0248-44-5888

大協製作所

検索



株式会社沼田商会



当社は機械工具のことなら何でも、大正13年創業の歴史と信用の総合商社です

Mitutoyo



高品質の原料と最新技術を用い
ISO9001の基準を満たす生産工程
で多数のお客様から信頼とご愛顧
をいただいています

お問い合わせ

横浜市金沢区福浦1-4-24
TEL 045-784-5811 FAX 045-782-5236
mail ns-maus@cpost.plala.or.jp (担当 沼田、神保)



氷点下の 三ツ矢サイダー



**MITSUYA
CIDER**

-5.0℃

凍る直前マイナス5℃

キンキンの冷たさ&シュワシュワな炭酸感を
楽しめる三ツ矢サイダーです!

フリージング現象※

マイナス5℃前後という温度帯をはじめとした一定の条件下において、
キャップ開栓後、液体が徐々にシャーベット状に凍っていく
フリージング現象が起こる場合があります。

※フリージング現象は、一定条件を満たさない場合や外気温等の環境によって起きない場合があります。

自動販売機の御用命は、下記まで宜しくお願い致します。

アサヒ飲料販売株式会社 横浜北支店

神奈川県横浜市
港北区新羽町1150-1

Tel 045-543-8181

100年のワクワクと笑顔を。

アサヒ飲料